

第6回 福知山市総合計画審議会（概要報告）

- 1 日時 平成27年10月21日（水）13：30～
- 2 場所 全議員協議会室
- 3 出席 委員 21人（4人欠席）
- 4 次第
 - （1）これまでの審議会の意見内容の整理
 - （2）答申に向けた審議会としてのまとめ
 - （3）松山市長との懇談

【審議の概要】（○：委員意見、⇒：市側回答）

基本計画5・6・7章修正について

○資料10 17ページ 修正部分

「保護者と子どもの基本的人権を保障する」とあるが、基本的人権を保護者と子どもに限るような記載はおかしいのではないか。

⇒検討させていただきます。

○資料12 81ページ

保育所入所率の現況が小数点以下4桁まで表記あるので、96.55%ではないか。

⇒調整させていただきます。

答申案について

○「福知山市においては」は不要ではないか。

⇒審議会（外部）からの文書ですので、ご理解いただきたいと思います。

○重点事項の（3）新しい価値を創造するというのは、何を意味しているのか分からない。

⇒長期ビジョンの目指す姿を掲げています。自然、医療、福祉など、すでにある資源を磨き直し、新たな付加価値をつけていくということです。

様々な交流を深めることによって、さらに価値を高めていくことができるであろう、という気持ちを込めて書きました。

○長期ビジョンの基本構想の部分と基本計画の部分を入れたほうがいいのではないかと思うが。

○下から2行目に、市民・地域・NPO・企業などという並びであるが、資料10 16ページ ②2行目では、住民・地域・事業者・ボランティア・NPOと書いてある。

並びや、市民と住民が混在しているなど整理したほうがいいのではないか。

【懇談の概要】（○：委員意見、⇒：松山市長）

松山市長との懇談会

○福祉について、福知山駅や交流プラザはバリアフリーになり、一步一步前進はしていると感じる。しかし、課題は多く、民間施設はまだまだなので、これからお願いしたい。中心部だけでなく、周辺のまちづくりも良くしていただきたい。

⇒普通の車椅子は入れるが、スポーツタイプの車椅子が入れない場所が案外多い。不自由をおかけして申し訳ない。大江駅には車椅子でホームまで行けるように新設した。一人でも多くの方に利用していただきたい。

周辺部の活性化なくして、中心部の活性化はない、と絶えず言うておるので今後さらに進めていく。

○青年経済人として企業でがんばっている人たちが、福知山市内のことで色々取り組んでいる。

三日点火、街コンというイベントを開催したが、メンバーが集まらず、行政の方がたに協力をお願いしたが、なかなか集まっていただけない。

我々、民間の青年と行政の若者がふれあいを持てば、これからの福知山のことを民間レベルで話ができるのではないか。市長から行政の若者に我々と触れ合う心構えを持つように言っていただきたい。

5年後、同じような計画をされると思うが、その時にメンバーはガラリと変

わるはずなので、しっかりと引継ぎをしておいてもらいたい。

⇒商工会や若い人が市職員を誘い込むようなことが大事だと思う。

○福知山市の環境基本計画の新たな10年が始まった。環境会議のボランティアだけでは到底できないので、バックアップをお願いしたいのと、福知山市の計画であることをご認識いただきたい。

みどりのカーテンは市民の方がたのおかげで10.2%であった。全市民3万世帯の約1割の方が協力してくれた。しかし、公共施設は9割を切り、市民に姿勢を見せていただきたい。

⇒委員さんイコール、ゴーヤ先生というくらい頑張っていて、感謝する。

みどりのカーテンを公共施設全部にしたいが、土付きが悪かったり、管理がヘタな関係で育たない。今後も地道に気長に頑張っていきたいと思う。

○介護の人材不足の問題で、人材養成センターを立ち上げたが、なかなか人材確保にはすぐには繋がってこない。PRも行っているが、抜本的な改革にはなっていないのが、現実である。

福祉職の給与面が低いことも問題で、離職せずに続けていくことが難しい。市と連携していきたい。

現在、施設に空きはあるが、職員がいないので開設できないところがいくつかあり、この危機的な状況を解決する方法を共に考えていかななくてはならない。

⇒教育のまち、福祉のまちではよそに負けたくない。介護は重労働であったりして、若い人も3年とは何とか続けるが、4年目以降はなかなか続かない。原因の一つに給与があると思うが、はたしてお金の問題だけなのか、検討していかなければならない。

○30代、40代が元気に活躍する町はそれなりに問題があっても、力があると実感している。

30、40代の特に男性がまちづくりに積極的に関わる要素が少ない。何かうまく生かせるシステムなり、知恵なり、行政からも働きかけて、少子化、子育ての問題に取り組むためにも地域社会の核になる人材づくりが必要なのではないか。

文化振興、地域の伝統文化を核とした村おこし、まちおこしに繋がってい

けるように今後とも共に努力していきたいと思う。

⇒幸せすぎて、豊かすぎて運動に乗りにくい傾向にあるのではないか。

住みやすいまち、住んでみたいまちの京都府ではダントツ1位だが、北近畿だと朝来市に負けている。なんとしても朝来市を抜きたいと思っている。市職員や市議会議員だけの力だけでは駄目で、市民ひとりひとりが福知山をよくしたいと思っていただかなくてはなりません。

○職員の接遇に「おもてなし」を。

文化協会の立場から、趣味趣向を一生懸命されている方、しあわせを生きるための心の教育、生涯学習をされている方のひとづくり、場所づくりの条件整備をお願いしたい。

⇒意識改革は一気には進まないの、じわじわ浸透していき、良くなると思う。常から市民に役立つところが市役所と言いつけている。

○救急医療が市民病院を中心に構想されているな、と感じる。市民病院とルネス病院で成り立っている事を再認識いただきたい。ルネス病院が新しくなるが、看護師不足である。

准看護学校で看護師育成に取り組んでいるが、学校の運営は赤字である。市、府、国からの補助もあり、今後も続けていきたいが、看護学校の先生、看護師が不足している状況。医師会も努力していくが、福知山市としても協力願いたい。

⇒救急車は両病院に同数行っている。まずは、患者の希望する病院、どちらでも良いと言われれば、均等に運んでいるはずである。

近隣市町にはない地域医療や休日診療等については感謝申し上げる。

地域医療の崩壊に繋がるような看護師不足については、協力していきたい。

○社会福祉協議会に入って、福祉ってなんだろう、と考えている。

福知山市だけでなく、国をあげて「ボランティアの活用」とよく言われますが、「活用」は失礼な言い方だと思います。特に災害ボランティアで強く思いました。

for you ではなく with you の関係の福祉で取り組んでいる事を理解していただきたい。

⇒人と人とのつながり、絆。

社協と私どもで力を合わせながら、地道に人とのつながりを作っていきたい。

○米の収穫が一月かけてようやく終わったところ。福知山は昔から米作りが盛んである。米価について昨年度より千円引き上がったが、出荷量が少ない。行先を失っているのではないか。いろいろ支援いただいているが、成果があがっていない。農家数が減っており、稲作の担い手育成が深刻であり、水稲面積も減ってきている。厳しい農業の現状について農家も頑張っているの、今後もよろしくお願ひしたい。

また、審議した市の総合計画の円滑な推進をお願ひしたい。

⇒農業委員会は、農地の転用審査を主な仕事にしている。毎日7,000食の学校給食を作っていて、地産地消は40%に過ぎない。70%まで上げるべきだと思っている。農家や集落がこの学校分はわたしに任せて欲しいというぐらいになってもらいたいが、なかなかできない。給食やアンテナショップに出す商品を提供するようなグループを集めて欲しい。

農家経営で収入が増えて、サラリーマンより儲かるじゃないか、という親父、おじいちゃんの姿を見せることによって、後継者は育っていくのではないか。

○国をあげて女性の輝く社会を、と叫ばれているが、地域ではなかなか女性が参画できない状況である。女性の組織がほとんどの地域からなくなっている。

婦人会組織がなくなると、女性が発言する機会がなくなってきたように思う。韓国では女性の管理職を30%にしないと罰則があるという話がでてくる。行政から規制を設けながら女性の登用を増やしていく措置が取られていることに感心した。

⇒女性の参画は非常に大事だと思っている。市議員も半数は女性でいいのではないかと言っているにも関わらず、土地柄かもしれないが、なかなか出してもらえないのが現状である。市役所の中でも同様である。

○自治体の地区担当は地理的、地域事情に詳しいほうがいいので、地域出身の職員にしていただきたい。

図書館の土日祝の開館時間を平日と同じ、20時までにしてほしいという要望がある。

交流プラザに多くの自転車の放置があり、自治会の公民館を福知山警察署

に貸し出し、24時間体制で見回りをしていただいているが、そういったことは周りの市民の不安を掻き立てる事になるので、一度考えていただきたい。

市役所は毎週水曜日19時まで窓口が開いているが、交流プラザ等の申請、自動交付機も同じ時間まで利用できるようにしていただきたい。

⇒地域担当は、「御用聞き」で市役所の行政と皆さん（自治会長）とのパイプを太くしたいということで、担当を用意した。

図書館と自転車放置問題は担当者がいるので、検討させたい。

○人権団体から初めて総合計画に参加させていただいた。人権の団体の代表がなぜ今まで入っていなかったのか、不思議に思う。人権は、どの施策の中にも生きてくると思う。

2015年度で第二次人権政策推進計画が終了する。色々な人権課題があり色々な論議をされることと思うが、行政としても私達としても真摯に考えていきたいと思う。人が生きる権利を大事にして、「市民をど真ん中に」していただきたい。

⇒基本的人権は市民全員のものである。

まだまだ人権の尊重に欠けるような行動、発言があるので、決してやめられないという回答を市議会ですしている。

市会議員さんの発言等も議会報告の中でしっかり読んでいただいて、ふさわしい議員かどうか、市民はしっかり見抜く必要がある。

公募があったときは是非手を上げていただいて、あらゆる委員会に参画していただきたい。

○未就園児とその保護者の支援に長く関わってきて、子育て支援という施策の中でも、乳幼児とその保護者の支援がとても大事だと痛切に感じている。ようやく来年、子育て支援の拠点の施設を作ってもらえることになり、子育て中のお母さんが迷わないで行ける場所ができた、嬉しく思う。

10年前の総合計画の会議とは違い、意見が活発に交換されていた。色々な計画も色々な意見を聞いてやっていってもらえると安心している。

⇒未就園児、放課後児童クラブについて今後も頑張っていきたい。

○三和地域協議会を立ち上げて半年あまりが経った。

地域には専門性や力がたくさんあるわけではないので、市役所の職員に「あ

そこ行って一緒に検討してこいや」というふうな投げかけを市長にお願いしたい。

そうすると、市職員も成長するし、力も発揮できる。地域も単に要求するだけではなく本当に施策として動かす、仕組みを動かすというのはどういうことなのか分かれば、思うようにならないことがあっても納得するのではないか。そのつなぎ役を地域協議会は引き続き頑張ってやっていく。

⇒三和地域は、定住促進の関係では旧三町で一番よく協議されており、一番熱心であると思う。

そのおかげで、大原神社のところに大きな橋をつけることになったし、経ヶ端の城跡に桜ともみじを増やそうという話にもなっている。

他の2地域は三和地域の協議会をモデルにしているので、今後とも頑張っていたいただきたいと思う。

○市民協働、地域全体で住民を育てる、或いは行政を育てるなかで新しい公立大学に期待することは何か、市長に伺いたい。

地域づくりの面において、市長のお立場からどのような人材、住民が今後の地域発展に必要であるとお考えか。

⇒軌道に乗ると、産官学の研究室を用意したいと思っている。

その時は、府も公立大学も工芸繊維大学も知識人を含めて、新しいブランド、新しい商品、そういった経営に関する企業家の知恵を産めるようなセンターになればいい、と個人的に考えている。

地域づくりの人材であるが、どこでも共通して言えることは「情熱」だと思う。情熱のない所に新しい文化は生まれない。学校の先生も職員も情熱を持って、公立大学を自分達で仕上げるつもりでいて欲しい。

○市民アイデア買い取り事業をきっかけに審議会に出席させていただいたり、福知山のことにも関心を持ったりするようになった。

自ら持参して提案するような積極的な行動は取りにくい。そんな時に、「なにかアイデアはありませんか」と聞かれると、「こんなこと思ってるんですけど」と意見を述べたりしやすいので、こうした取り組みを、何かあればしていただけると嬉しい。

⇒市民アイデア買い取り事業は続けていきたいと思う。

○高性能の排水ポンプが配備されます、と新聞掲載があった。これは、どこでどのように使われるのか知りたい。

災害救助法が適用されなくても市から支援、補助していただけるようお願いしたい。

シルバー人材センターの目標人数が減っていた。これは国、府、市からの補助金が削減されたことによる影響なのか。高齢者が元気に働くという意味では、シルバーセンターの役割は非常に大きいと思うので、支援をしていただきたいと思います。

⇒排水ポンプの関係は担当に確認してほしい。

○市内の高校生が定住したいと思う割合が、10%に満たないなか、大学に留まってくれる高校生が何人いるのか。大学で取得できる特殊免許などがあればいいのではないか。

若者が発散できる場をたくさん設けていただいて、イベントも学校にお知らせしていただきたいと思います。

⇒魅力ある大学になるよう、例えば教職の免許が取れるとか、都会に行かなくても色々な資格が取れるカリキュラムにする必要があると思っている。

○私が小学6年生の時の同級生は22人いたのだが、今、地域には私1人しか残っていない。一市民として急速な人口減の現実に危機感を持っている。

⇒人口78,000台は守りたい。人あってこそ市が繁栄すると思っている。

三和地域の企業で求人をして、年寄り以外の応募がない。アネックスの企業は地元から人を採用したいようである。京阪神に出ている多くの人を呼び返すくらいの広告を入れてでも、アネックス三和をやっていききたい。

○福知山を何とかしたいと思い、参加した。自営業者の産前産後の問題を、産休制度のある市職員が解決できるのだろうか、温度差を感じる。

同様に、カラーガード隊が出産ラッシュだが、消防職員からは幽霊部員扱いを受けている。隊は独自で心得を作り、厳しく指導し、子どもをおんぶしながら活動をしているのに、消防職員には産休育休があって、団員にはないのか。親身になって考えてもらいたい。市職員の方ともっと繋がっていただけたいな、と思う。

会議に出席した一市民として、3人目の出産を希望している。老体に鞭打

って、命を懸けてがんばるので、福知山市としても頑張ってもらいたいと思う。

⇒他市がカラーガード隊を絶賛している。自信をもってやっておられるし、素晴らしいチームだと誇って言える。批判に負けずに頑張ってもらいたい。